

# 地域経済分析システム 「RESAS」

地域経済動向レポート(令和7年度実施)

たつの市商工会

RESAS（地域経済分析システム）は、地域経済に関する様々なデータ（産業の強み、人の流れ、人口動態など）をグラフで分かりやすく「見える化（可視化）」したシステムです。データに基づいた地域の実情を把握・分析できるので、ぜひ参考にしてみてください。

# 人口

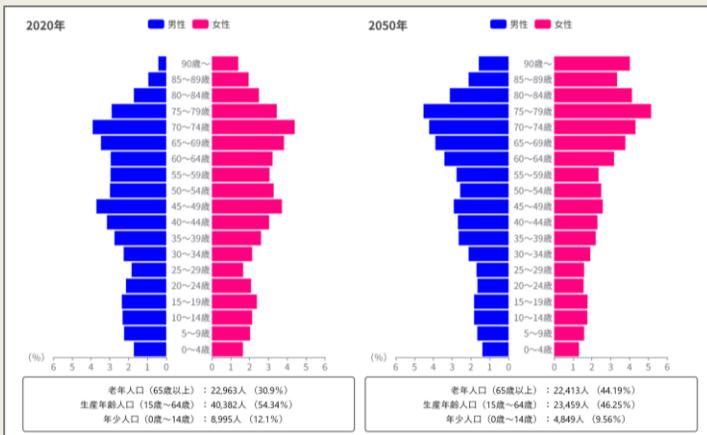
## ● 年齢別人口推移(2020年)

2020年の総人口は74,316人。10年前(2010年)の80,518人から大きく減少している。将来人口を見ると、5年ごとに約4,000人ペースで今後も減少が見込みである。年齢別に今後の傾向を見ると、年少人口と生産年齢人口は減少傾向、老年人口割合が増加する傾向にある。よって、**少子高齢化が一層進んでいく地域である。**



\* 人口マップ→人口構成→人口推移

※年少人口は15歳未満、生産年齢人口は15～64歳、老年人口は65歳以上を指す。

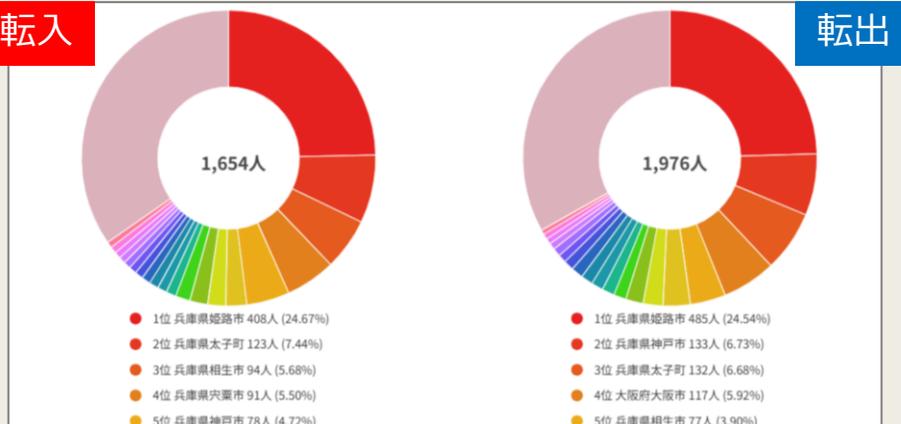


\* 人口マップ→人口構成→人口ピラミッド

## ● 人口ピラミッド(2020年)

現在と将来の年齢別人口構成を示したグラフである。老年人口の割合をみると、2020年の30.9%から2050年には**44.19%**まで上昇する。特に女性の老年人口割合の上昇が顕著である。一方、生産年齢人口は2020年の54.34%から2050年には**46.25%**まで減少する見込みである。

## 転入

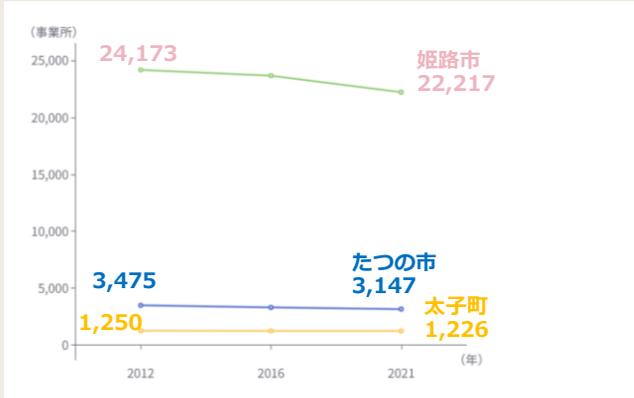


\* 人口マップ→社会増減分析→From-To(定住人口)

## ● 転入出者の地域別構成(2024年)

定住人口で見る転入出者の地域別構成では、転入・転出ともに姫路市が圧倒的に多い状況。転入は隣接市町からが多い傾向にあるが、転出で見ると神戸市・大阪市といった都市部への転出も多い事が読み取れる。

# 産業構造



## ● 事業所数の推移

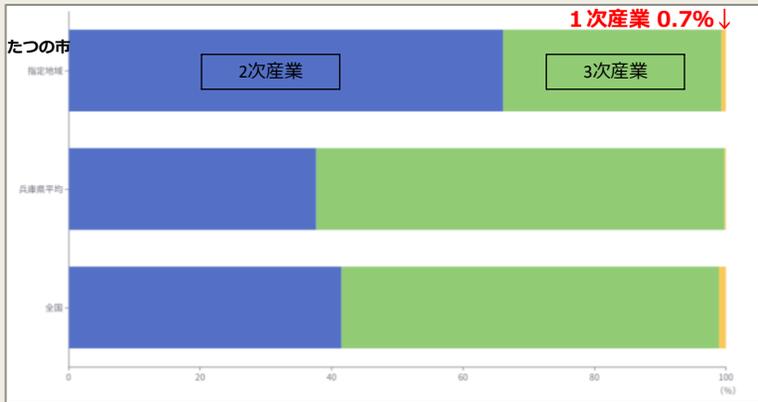
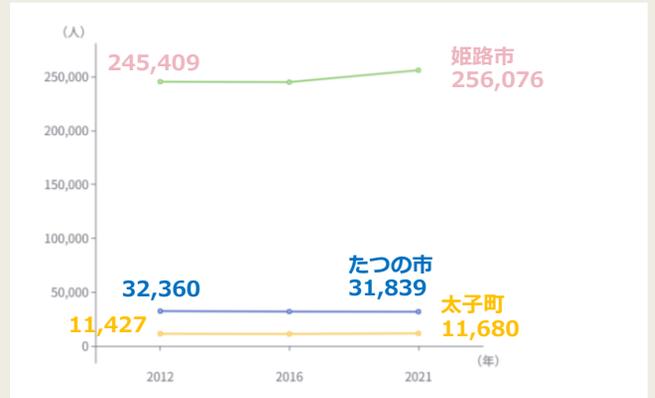
事業所数の推移を見ると、2021年の事業所数は**3,147事業所**。9年前の2012年と比較すると**9.4%減**である。隣接市町を見ると姫路市は8.1%減、太子町は1.9%減であり、これらの地域と比べると**減少幅が大きい**。

\* 産業構造マップ→産業構造分析→推移(全産業)→事業者数

## ● 従業者数の推移(2021年)

従業者数の推移をみると、2021年の従業者数は**31,839人**。9年前の32,360人と比較すると、**1.6%減**である。隣接市町を見ると姫路市は4.3%増、太子町は2.2%増となっており、これらの市町と比べると**減少幅がより大きい**。

\* 産業構造マップ→産業構造分析→推移(全産業)→従業者数



\* 地域経済循環マップ→生産分析→地域内産業の構成を見る

## ● 地域内産業の構成割合(2022年)

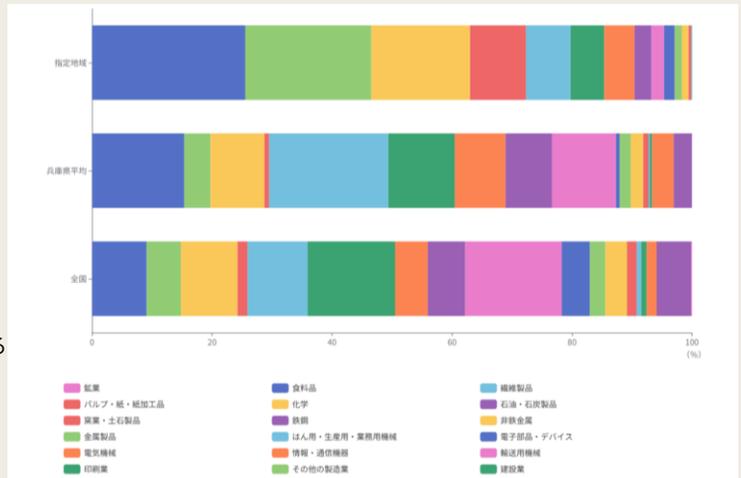
たつの市の産業の構成割合を全国および兵庫県と比較したグラフである。もっとも割合が高いのは2次産業で**66.1%**を占めている。一方、3次産業は**33.2%**と、全国の57.4%、兵庫県の62.1%と比べて低くなっている。

- \* 1次産業…農業、林業、漁業など
- \* 2次産業…製造業、建設業、工業など
- \* 3次産業…商業、金融業、医療・福祉教育などのサービス業や、  
外食産業・情報通信産業など

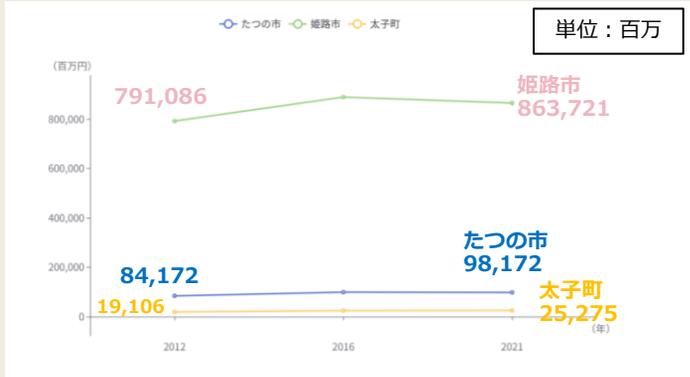
## ● 2次産業の構成割合(2022年)

たつの市の2次産業の構成割合を全国および兵庫県と比較したグラフである。もっとも割合が高いのは**食料品製造で25.5%**を占める。上位4業種(食料品、その他製造、化学・パルプ・紙・紙加工品)は**兵庫県、全国と比べても割合が高い**ことが分かる。

\* 地域経済循環マップ→生産分析→地域内産業の構成を見る



# 付加価値額

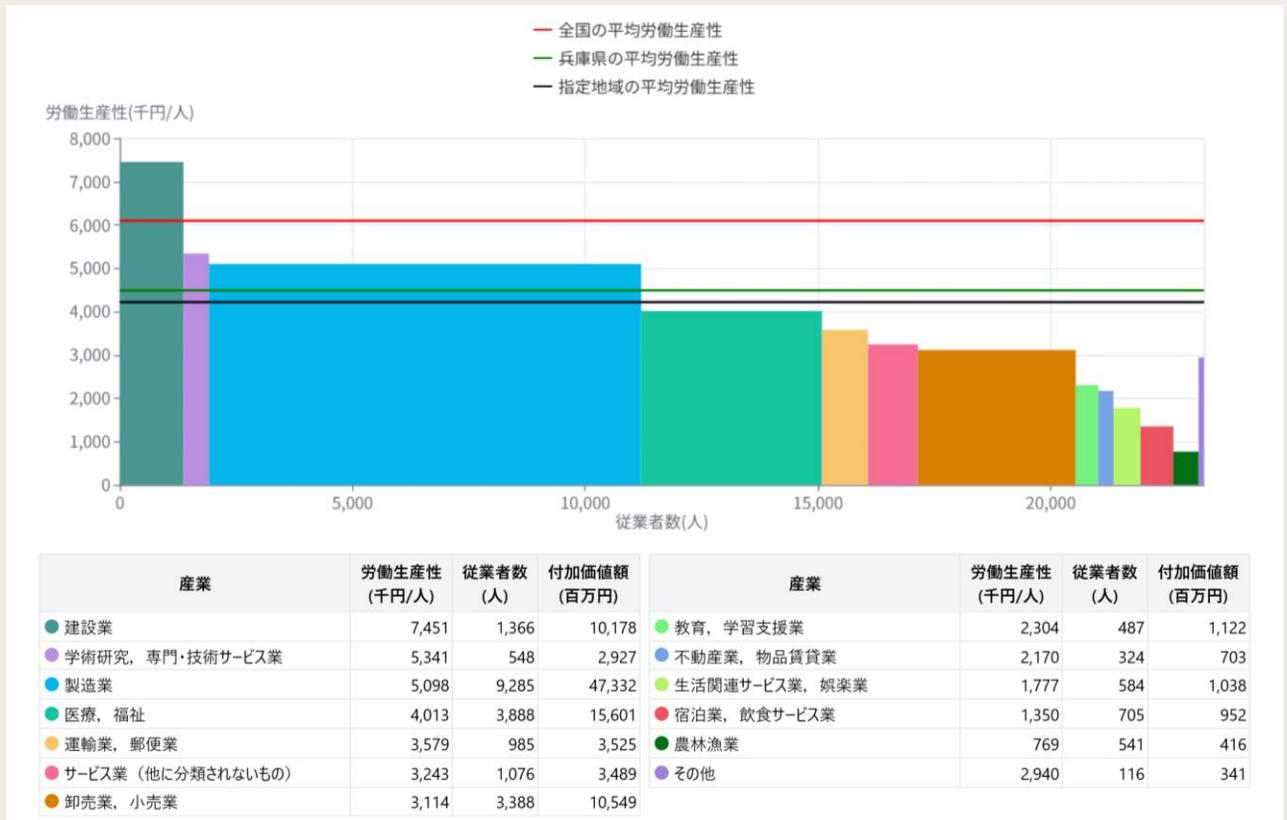


## ● 付加価値額の推移

付加価値額の推移を見ると、2021年の付加価値額は98,172百万円。9年前の2012年と比較すると16.6%増である。これは、**姫路市(9.1%増)よりは成長幅が大きい**が、**太子町(32.3%増)と比較すると低い**ことが分かる。

\* 産業構造マップ→産業構造分析→推移(全産業)→付加価値額

# 労働生産性



## ● 従業者と労働生産性から見る業種別付加価値額(2021年)

労働生産性とは従業者一人当たりの付加価値額（営業利益等）を言い、付加価値額を従業者で除したものとなる。これは労働効率性を計る尺度であり、**労働生産性が高い場合は投入される労働力が効率的に利用されている**と言える。日本の労働生産性はOECD加盟38カ国中下位に近い位置にあり改善を要する国の一つだが、2021年で**全国平均6,095千円/人**であった。一方、**たつの市の平均労働生産性は4,215千円/人**と、全国平均の**約70%**にとどまっており、業種では**建設業(7,451千円/人)**は全国平均以上、**製造業(5,098千円/人)**等は比較的高い値を示しているが、**宿泊業・飲食サービス業は1,350千円/人と著しく低い値となり効率性が大変悪い状況である**

\* 産業構造マップ→産業構造分析→付加価値額の構造分析

# 地域経済循環

① たつの市の企業は合計3,110億円の付加価値を生み出している。

② 付加価値のうち、支出に回されるのは3,298億円。市外からの流入があるので、付加価値額を上回っている。

## ● 地域経済循環図

地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出されて、再び地域内企業に還流する。この流れを示したものが地域経済循環図である。

これによるとたつの市は3,110億円の付加価値を生み出しているが、所得からの支出3,298億円より少なく、**稼ぎが市外に流出している**と言える。

\* 地域経済循環マップ→地域経済循環図

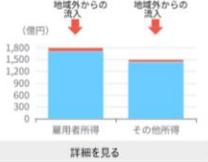
地域経済循環率

94.3%

所得への分配

3,110

分配（所得）



所得からの支出

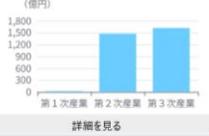
3,298

支出



生産（付加価値額）

(億円)



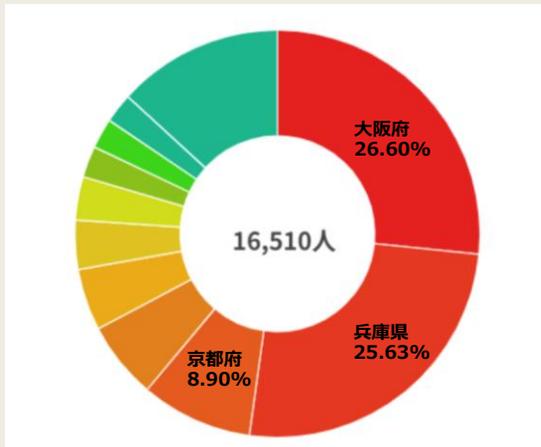
支出による

生産への還流

3,110

③ 市内で支出に使われた金額は3317億円。市外への流出があるため、3,332億円より少ない。

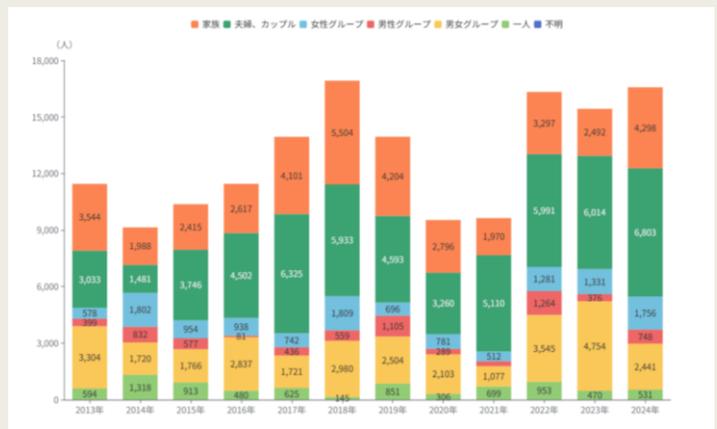
# 観光



\* 観光マップ→宿泊者分析→居住都道府県別に見る

## ● 居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合(2024年)

居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合を示したグラフである。大阪府が26.60%と最も多く、兵庫県が25.63%、京都府8.90%と続く。2022年調査時に3位だった愛知県が10位となる等、数年でも大きな変化がみられる。



\* 観光マップ→宿泊者分析→属性別に見る

## ● 属性別の延べ宿泊者数（総数）の推移(2024年)

属性別の延べ宿泊者数（総数）の構成割合を示したグラフである。夫婦・カップルでの宿泊が割合・人数共に最も多く、2024年には6,803人(全体の41%)と過去最も多い人数となっている。

発行：たつの市商工会

〒671-1641 兵庫県たつの市揖保川町原849-37

TEL : 0791-72-7550 FAX : 0791-72-6005

URL : <http://shoko-tatsuno.jp/>

